

# 追分高校です

58



## 進路出陣式 「気持ち切り替え、 進路目標の実現へ」

7月22日、追高3年生の恒例進路行事である進路出陣式が行われました。進路活動が本格的に始まる夏休みを前に、学年全体で激励を受け、進路決定への自覚と決意を高めることを目的とした重要な区切りの儀式です。

スーツ姿の3年生からは、緊張の中にも引き締まった表情で進路出陣式に臨む様子が伺われ、冒頭に宮原校長が「追高生としての自信と誇りを

もって、進路実現に向けて頑張ってほしい。自分の意志をしっかり持ち、進路が決まるまで粘り強く諦めないことが大切」と挨拶しました。また、学校法人西野学園理事長・前鼻英蔵様からは「保護者へはもちろん、感謝の気持ちを持つことが大切。どんな仕事も人を介して成り立っている

ので、コミュニケーション能力を磨き、常に学び続ける姿勢で頑張ってほしい。」胆振教育局進路相談員・西智子様からは「就職は早めに動いて、職種を広げることも考えてほしい。最後まで諦めずに、夏休み中から資格の勉強や体力作りなどしっかりと準備を進めましょう」と激励の言葉をいただきました。

今年度も「進路実現100%」を心に誓うやる気に満ちた表情に変わりました。



西野学園理事長 前鼻氏

## 安平町広島平和記念式典 派遣事業に参加

8月4日から7日、安平町主催の広島平和記念式典派遣事業に、本校3年生藤田美由貴さんと船木さくらさんの2名が参加しました。今年度は安平町合併10周年に併せて事業規模を拡大していたため、追高生も派遣団に加わりました。広島は連日の猛暑で体調管理が大変だったようですが、原爆資料館を訪れて被災した数々の遺品を見学したり、被爆者の方の体験談を聞いてみると、改めて原爆の悲惨さや恐ろしさ、そして平和の尊さを肌で感じ取ることができたようです。

6日に行われた平和記念式典では、安倍首相をはじめとする来賓席にかなり近い前の席だったようで、緊張した面持ちで列席しました。平和への誓いをしっかりと心に刻んで学校に戻った2人は、「高

校生として式典に参加できたことはとても貴重な経験で、改めて平和のありがたさばかりでした。このような機会を与えてもらいとても感謝しています。広島は本当に暑かったですね。」とコメントしてくれました。



豊島教育長と平和を祈る三人



原爆ドームをバックに記念撮影

- ▼9月の行事予定
- 9日 学校説明会
- 21～23日 1年宿泊研修
- 30日 終業式、役員選挙

### ▶ 皆様のご意見をお寄せください ◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)  
〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地  
ホームページで「追校の今」をご覧ください。  
【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

### 追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

### 追高＝一人ひとりを伸ばせる学校